



平成 29 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 双 葉 電 子 工 業 株 式 会 社
 代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 高 橋 和 伸
 (コード番号 6986 東証第一部)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 中 村 正 行
 業 務 管 理 本 部 長
 T E L 0 4 7 5 (2 6) 0 1 6 0

通期連結業績予想の修正および営業外収益の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 11 月 9 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。また、平成 29 年 3 月期第 3 四半期連結累計期間（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）において為替差益を営業外収益に計上しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	65,800	600	△400	△1,800	△42.35
今回修正予想 (B)	64,200	△200	△100	△1,900	△44.73
増減額 (B-A)	△1,600	△800	300	△100	—
増減率 (%)	△2.4	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	69,830	1,493	1,140	△1,946	△44.75

(修正の理由)

【売上高減少要因】

(電子部品事業)

- ・有機 EL ディスプレイは、スマートバンド市場の拡大が鈍化し、ウェアラブル製品向けの受注が平成 28 年 11 月に公表しました計画に対して大幅に悪化しており、第 4 四半期も継続する見込みです。
- ・タッチパネルは、想定を上回る旺盛な需要に対し、設備投資のずれ込みに伴う機会損失の増加が発生し、売上高減少の要因となりました。なお、本件は、第 4 四半期後半に改善する見込みです。

(生産器材事業)

- ・国内自動車向け等のプレスおよびモールド製品が期後半には回復すると見込んでいましたが、回復が想定以上に遅れており、韓国市場でもスマートフォン向けや自動車向けの落ち込みが継続しており、第 4 四半期はさらに悪化すると予想しています。

(電子機器事業)

- ・ホビー用ラジコン機器は、ドローンの普及に伴う法規制強化の影響などから空物を中心に当初見込み

より市場が縮小し、第3四半期では売上高が減少しましたが、第4四半期ではやや回復する見込みです。

【営業利益減少要因】

(電子部品事業)

- ・有機ELディスプレイは、前述のウェアラブル製品向けの受注の大幅な悪化から操業度が低下し、営業利益減少の大きな要因となり、第4四半期も継続する見込みです。
- ・タッチパネルは、第2四半期以降の新製品に関する初期費用の大幅な増加は、新たな設備投資等により第3四半期には収束すると想定していましたが、前述の設備投資の遅れ等の理由から改善が遅れており第4四半期にも影響することが予想されます。なお、本件は、第4四半期後半には改善する見込みです。

(生産器材事業)

- ・前述のとおり国内および韓国市場の想定を上回る回復遅れにより操業度が低下し、営業利益減少の要因となり、第4四半期はさらに悪化すると予想しています。

【親会社株主に帰属する当期純利益の減少要因】

- ・経常利益は為替差益を計上したことから前回予想を上回りましたが、本日公表しました「蛍光表示管の生産拠点集約および特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、事業再編費用等として特別損失約6億円を新たに織り込んだことによります。

上記を勘案し、平成28年11月9日に公表いたしました平成29年3月期通期の連結業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、第4四半期連結会計期間の為替レートにつきましては、1米ドルあたり110円を前提としています。

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報を合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があり得ることをご承知おきください。

2. 営業外収益の計上

(1) 営業外収益の内容

平成29年3月期第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年9月30日)において、為替差損1,285百万円を営業外費用に計上しておりましたが、平成29年3月期第3四半期(平成28年10月1日～平成28年12月31日)において、為替相場の変動により為替差益1,401百万円が発生したため、平成29年3月期第3四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年12月31日)では、115百万円の為替差益を営業外収益に計上いたしました。

なお、上記の金額は平成29年3月期第3四半期末時点での為替相場により算出したものであり、今後の為替相場の状況により変動する可能性があります。

(2) 業績に与える影響

上記の為替差益が業績に与える影響につきましては、本日公表いたしました「平成29年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)」をご参照ください。

以 上